

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	工業英語 I
科目基礎情報					
科目番号	0021		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子機械工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	Basic English for Engineers and Scientists				
担当教員	大石 哲男				
到達目標					
1. Technical term の語彙を強化し、電気・機械・情報分野の基礎単語を活用できる。 2. 技術的知識に基づく技術英語文献の和訳ができる。 3. 工業英語 2～3 級程度を目標とする。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	Technical term の語彙力が工業英語 2 級程度		Technical term の語彙力が工業英語 3 級程度		Technical term の語彙力が工業英語 3 級程度以下
評価項目2	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳が		技術的知識に基づく技術英語文献の和訳が		技術的知識に基づく技術英語文献の和訳が
評価項目3	工業英語 2 級程度の問題が解ける		工業英語 3 級程度の問題が解ける		工業英語 3 級程度の問題が解けない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1. Technical term の語彙を強化し、電気・機械・情報分野の基礎単語を活用できる。 2. 技術的知識に基づく技術英語文献の和訳ができる。 3. 工業英語 2～3 級程度を目標とする。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業方法は教科書英文の訳読を中心とし、和訳を行っていく。 教科書訳読は学生が積極的に希望して行う。 和訳を聞き取るのではなく、英文を和訳することに注力すること。 技術英文講読は、授業中は集中力を持って行い、残りは自宅学習とする。 技術英文講読は自宅学習を含めてレポートとし、翌週の授業時に提出すること。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 単位認定には十分な自学自習を前提とする。 授業での教科書訳読は積極的に行うこと。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 技術英文講読	授業の内容と学習方法について理解する	
		2週	Reading Numbers 技術英文講読	数の英語表記について理解し、適切な訳ができる	
		3週	Natural Numbers 技術英文講読	自然数の英語表記について理解し、適切な訳ができる	
		4週	Different Kinds of Numbers 技術英文講読	種々の数の英語表記について理解し、適切な訳ができる	
		5週	The Pythagorean Theorem 技術英文講読	形容詞の働きについて理解し、適切な訳ができる	
		6週	The Calculus 技術英文講読	基本文型と時制について理解し、適切な訳ができる	
		7週	演習と復習	既学習範囲について理解し、適切な訳ができる	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	試験返却・解答 技術英文講読		
		10週	Vectors 技術英文講読	関係代名詞について理解し、適切な訳ができる	
		11週	Mechanics 技術英文講読	前置詞について理解し、適切な訳ができる	
		12週	Global Warming 技術英文講読	複文・重文について理解し、適切な訳ができる	
		13週	Elements and Atoms 技術英文講読	句動詞について理解し、適切な訳ができる	
		14週	Electricity and Magnetism 技術英文講読	従位接続詞について理解し、適切な訳ができる	
		15週	期末試験		
		16週	試験返却・解答	既学習範囲について理解し、適切な訳ができる	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語 英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
			英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
			リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
			語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
			文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	

			文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
			中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
			自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
			中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
		英語運用能力の基礎固め	毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
			毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	0	0	0	10	100
基礎的能力	30	5	0	0	0	5	40
専門的能力	30	5	0	0	0	5	40
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20